

CONTENTS / 目次

広報かのや No.296 May 2018

- 04 特集
「桜島大噴火の記憶」
- 08 かのやばら祭り 2018 春 /
かのやハーブフェスティバル 2018
- 09 半田あかりさんが、鹿屋で走り続けた2年間
- 10 温故写新/カノヤタイムトラベル
- 11 夢のかけはし「市来 秋美さん」
- 12 みんなの Hot News
- 14 生まれ変わる。鹿屋女子高
- 16 鹿屋で体感、「明治維新」
- 18 知って役立つ情報掲示板
- 22 すこやか直幸便/
休日救急当番医・歯科休日急患在宅医
- 23 スゴいぞ! ○高/おしごとの時間
- 24 市民のひろば
- 25 みんなのフォトネタ
- 26 かのやんよかもん
- 28 プレゼント・映画情報



風薫る五月、 広がるのはハーブの香り。

今月のカバー



元気に泳ぐ鯉のぼり

祇川小学校の校庭で毎年見ることができる鯉のぼり。昨年、祇川小学校に立ち寄った時、たくさんの鯉のぼりたちが、青空のもとで気持ち良さそうに泳いでいるさまを見かけ、思わずシャッターを押しました。雨も桜島の灰も降らず、さわやかな風が吹く日の鮮やかな鯉のぼりが印象的でした。



生産したハーブを使ったお茶などの加工品開発にも取り組む。 **Tel 0994-45-7963 (事務局)**



レッドクローバー

その香りが癒し効果やリラックス効果をもたらし、多くの女性たちに愛されるハーブ。今、鹿屋でハーブを生産・加工し、ブランド化に向けた活動を始めている女性たちがいます。ハーブが好きな女性農家などが集まり、昨年結成された女性グループ「レッドクローバー」です。今年3月には、5月19日・20日に開催される「かのやハーブフェスティバル 2018」(P 8)に向け、メンバーらでカモミールの苗 6,000 株を霧島ヶ丘公園に植えました。イベント当日にカモミールの花が満開になることを願い、代表の山園 利恵さんやまどの りえもその実行委員会メンバーとして、準備に日々奔走中です。女性ならではの目線で、鹿屋に明るいハーブ生活を。レッドクローバーの今後から目が離せません。